

会議前には、小学校の掃除の時間を参観しました。時間になった途端、口を閉じて、熱心に掃除に取り組むはじめのある姿を参観することができました。

園・学校運営協議会

第3回は、今年度の幼稚園・小中学校の経営方針に対する成果と課題について説明がありました。

(1) 浦田委員長より

地域・家庭、学校が連携をして取り組むことを大切にしていきたい。

(2) 幼稚園・小中学校の経営方針の成果と課題(抜粋)

幼稚園

質の高い保育・教育の充実のために、指導力の向上や各種連携を大事にしてきた。その結果、園を楽しみに登園したり、思いを話せるようになってきたりした。今後は、自分でできることを増やしていきたい。

小学校

学力面では、計算・漢字検定を行ってきた結果、全国学力テストで好結果が得られたが、文章全体を効果的に読む力をつけたい。生活面では思いやりや協力し合える関係づくりに取り組み、行事で成果を得た。今後は人権教育を多文化共生の視点でも考えていきたい。

中学校

授業が楽しい、学校が楽しいと感じた生徒が増加した。落ち着いた学校生活を送っており、積極的にボランティア活動に取り組む姿が見られた。今後、更なる楽しい学校づくりと働き方改革を考えていく。



(3) ご意見・質疑応答

- ・以前は、部活動は内申書に影響していたが今はどうか。
⇒現在は部活動の多様化に伴い影響がない。むしろ、英語検定や数学検定などが影響する。(そうした自己の良さは、自己申告されたものから記述する)
- ・小学校の掃除の黙想タイムの意義を低学年でも理解しており、そうした姿が本日の姿に現れていた。
- ・働き方改革については、小中のみならず園も共通の問題である。
- ・働き方改革は、職員のゆとりといった点で大事ではある。しかし、あくまでも子どもを主体においた子どものための働き方改革であるべきである。

地域・園・学校協働本部

(1) 全体会

① 高橋協働本部長より

「熟議」「承認」することや、既存の団体を使うなど「あるもの生かし」の大切さについて話がありました。

② 各専門委員会からの報告

10月29日の第2回コミュニティ・スクールで話し合われた内容を中心に、各委員長から説明がありました。

ふるさと・絆委員会 (林 誠二 委員長)

校内学習のボランティアだけではなく、今後は学校の外での活動を中心に支援していきたい。

地域・スポーツ委員会 (白田 伸幸 委員長)

バレー部と野球部の廃部の動きについて、委員会の中で「町全体の問題」というとらえ方をして考えていく。

多文化共生委員会 (梅田 千枝子 委員長)

外国人児童の困り感を減少させていくことを考えているが、そのためにはボランティア、教育機関、行政の連携が大切である。



(2) 分科会 今年度のまとめとして、成果や来年度に引き継ぐことなどが話し合われました。

ふるさと・絆委員会

坂祝町の「ふるさと教育全体計画」が作成できた。町内で子ども達のために活動して下さっている方を広報などで紹介していく。

地域・スポーツ委員会

国・県の方向性や、中学校の現状について共通認識を得た。町のスポーツ活動の今後について話し合いを続ける。

多文化共生委員会

問題点が明確になり中学校での進路説明会や就学前の説明会を開催した。今後、学習や生活面における具体的な支援をしていく。